

## 谷中湖と足尾銅山跡を訪ねて — 新幹線地本 平和研修報告 —

新幹線地本が9日～10日に平和研修を行いました。研修は足尾銅山鉍毒が引き起こした様々な事件や公害被害に立ち向かった歴史を学び、私たちの職場の取り組みに生かそう、という目的で行われました。

研修に参加された、尾崎昭雄さん（OB）から以下の報告が寄せられましたので紹介します。

分会の皆さん、ご苦勞様です。過酷な試験が終わっても安心してはいられないと思います。私は退職から10ヶ月を過ぎましたが、そこそこやっています。

ところで、今後も職場で苦勞している皆さんと共に様々な取り組みに参加しようと思い、その一環として地本平和研修にも参加させて頂きました。研修の目的などはずすでにご承知と思いますので省略させて頂き、感想だけとします。（25人中、OBは3人でした）

まず谷中湖ですが、私の頭には足尾銅山との関係よりも渡良瀬川の流域にある湖という感じでした。大きな人造湖＝超巨大遊水池で、コンクリートで固めてあるそうですが、それは足尾銅山の精練所から流出する鉍毒を遊水池に沈殿させ、再び下流に流出させないためだと分かりました。今、谷中村は湖底に沈んでいます。勉強不足でした。

その後、佐野市郷土博物館と足尾銅山の公害に反対し、そして村を残そうと立ち上がった村民と共に行動した田中正造の生家を訪ねました。そこで学んだのは、村民と同じ気持ち、痛みを共有しながら行動した田中正造の強く優しく、そして目的を見失わない勇敢さを、私も見習おうということでした。

1日目を終えて宿・風呂・懇親会へ。

2日目は、足尾銅山跡の坑内にトロッコで入りを見学しました。移動して鉍石精練所跡や東労組の皆さんやボランティアによる植樹の成果が出始めている山々（私が4年ほど前に行った時は、まだ赤いところが多くあった）を確認しました。

さらに移動し、強制連行されて銅山で働かされていた朝鮮人、中国人の供養塔に行きお線香を手向けました。（銅山は昭和に入っても掘り続けられ、植民地化した朝鮮や中国の人が強制連行されて労働させられていた）

2日目を終えてバス・上野・反省会へ。

2日間の研修を終えて考えました。田中正造が命をかけて明治天皇に直訴したこの時代は、天皇を中心とする憲法の下でしたが、今、安倍首相が国民を犠牲にして戦争の出来る日本、すなわち100年以上も前の大日本帝国憲法＝明治憲法と同じ様にしようとしている動きにしっかりと立ち向かわなければならぬと、あらためて決意しました。

全行程に同行し詳しく案内をしてくれ、又活動の状況を教えて頂いたJ R 東労組組合員と同じくOBの皆さん5人に感謝、感謝でした。

OB・尾崎昭雄 6月15日